

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(早川運輸株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.9.5変更】

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	□	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	求人の際には性別、年齢、学歴、国籍、出身等の条件を提示しておりません。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	社内規定にハラスメントに関する規定を定め、相談窓口設置、及び担当者を配置しています。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.8								16.1		
	□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	36協定の遵守・徹底 運行管理システムを活用し運行管理の徹底								8.5 8.8									
	□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	現在は該当無し 求人の際には国籍などの条件を提示しておりません。				4.4			8.7 8.8		10.2 10.3								
	□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	安全衛生管理規定を整備し運用を行っている。 安全、指導の部署を設置			3					8									
	□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	社内相談窓口を設置し、従業員の心と身体の健康への配慮をしています。			3														
	□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	多様な人材が活躍できるように柔軟な労働条件の設定等、環境整備に取り組んでいます。					5.1 5.5		8.5		10.2 10.3								
	□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	各種資格取得の補助や教育機関・講習などへの参加を推進しています。			4		5.5		8	9									
	□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	パートタイム労働法、労働契約法の改正内容を理解し、同一労働、同一賃金等の原則に沿った体制を整備しています。					5.5		8.5		10.2 10.3								
	□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	予定:健康経営優良法人の取得			3					8									
環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	産業廃棄物を適正に処理 産業廃棄物の低減化の為、分別の徹底に努めています。										11.6 12.4		14.1					
	□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	車両毎の燃費を把握し、個々に指導を行っております。							7.3					13					
	□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	燃費向上を目的としたエコドライブの推進、アイドリングの抑制に取り組んでおります。							7.2 7.3			12.4	13.3						
	□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	ダイオキシン削減の為、資源ゴミの分別を徹底し、リサイクル業者に引取りを依頼しています。			3.9		6.3					11.6	12.4						

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境に配慮した資源の調達・使用に努め生態系への影響の低減化に貢献しています。						6.6							15				
16	□	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	封筒やコピー用紙の再利用 資源物の分別の徹底に努めています。									12.5	14.1							
17	□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	予定:利用状況を把握し、節水啓発の実施に努める。					6.4 6.6												
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9		6	7			12	13.3	14	15					
19	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	具体的成果状況については今後の検討としている									12.6								
20	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ							7.2						13					
21	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	軽油使用量節約を目的としたエコドライブの推進及び、 アイドリング抑制の推進。									12.2	13	14	15					
22	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職、贈収賄を禁止する方針を社内周知しております。														16 16.5			
23	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争行為に関与しない方針を社内周知しております。														16			
24	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	社員教育の実施。営業秘密保持の徹底については、 契約書を取り交わし慎重に行っている。							8.2 8.3	9									
25	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報保護規定を定め運用し、管理の徹底を図っております。														16			
26	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	当事業所では取扱は無い														16			
27	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	新たに取引を開始する際に、対話または文章により双方合意を行っている。				5			8		10	12	13	14	15	16	17		
28	□	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	予定:パートナーシップ構築宣言を作成・公開している			3					8	9	10					17		

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。<https://www.biz-partnership.jp/>

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																									
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
																														
29	○	【製品・サービスの安全性】 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	36協定の遵守・徹底 運行管理システムを活用し運行管理の徹底				3.9																						
30	○	【品質保証】 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	Gマーク認定を取得し、安全輸送サービスを提供するべく、運輸安全管理の徹底を図っております。また、サービス・品質の向上を目指し、日頃より教育指導を行い、共通認識の確認を行っている。														9												
31	○	【環境配慮】 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	環境に配慮した新車の導入を積極的に行い、古い車両との入れ替えを進めている。							6											12	13	14	15					
32	○	【社会課題解決】 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	人員不足、長時間労働の問題を抱えている顧客に対して当社サービスの提案をし、事業に専念できる環境を提供する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
33	○	【地域への配慮】 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	騒音や排ガスなどで近隣に迷惑をかけないように指導、教育をしています。				4										9				11	12		14	15	17			
34	○	【社会貢献活動】 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	予定：地域の次世代を担う人材育成の為、児童養護施設への支援を検討している。				4														11				14	15	17		
35	○	【地域資源】 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地域で採れる農産物を社員へ提供している。顧客へのPRも積極的におこなっている。									8	9								11	12	13						
36	○	【内部管理体制】 経営理念及び経営目標を社内へ共有している	基本	経営理念の文書化。社内掲示にて共有しております。											8	9														17
37	○	【法令遵守】 法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	入社時に各種法令の説明を徹底しております。また、管理職会議等で定期的に法令遵守体制について確認を行い、指導・管理の徹底を図る。																										16
38	○	【組織体制】 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	組織規定及び職務権限明細等を制定し運用しています。																										16
39	○	【ステークホルダーとの対話】 ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	適時、取引先等ステークホルダーと意見交換を行い、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し適切に対応するように努めています。																								16	17	
40	○	【リスクマネジメント】 リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	安全衛生委員会やそれに準じた会議において、業務の危険の抽出をし、ヒヤリハット作成による危険箇所の共有・KY活動を行っております。																										16
41	○	【社会的責任】 CSR (Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	社会インフラにおける物流の重要性・社会的責任が重い事を理解し業務運営し、日常の対面点呼等による運行管理の徹底に努めております。																										16
42	○	【事業継続】 事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	予定：不測の事態の事業継続を図るため、事業継続計画・危険管理規定を策定し運用する。															9				11		13	13.1				16
43	○	【事業承継】 事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	経営計画を策定済み														8	9											17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載しただけでは登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
- (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるほし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

- この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA (Responsible Business Alliance) (※2) 行動規範等を参考に、非財務情報 (SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項) について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**赤字**、間接的(結果として)に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定